

6月3日古座川町集会・2025原水爆禁止国民平和行進 日本政府は禁止条約に署名・批准を!!



大家一成町長、谷久司議長



地元挨拶 金田眞さん

6月3日（火）晴れ。国民平和大行進は、古座川町に入りました。

午後2時40分、古座川町総務課を新宮東牟婁原水協増田弘さんと県原水協事務局で訪問。大家一成町長、谷久司議長と懇談できました。町長、議長からのペナントも受け取りました。又、役場1Fフロアに置いて頂いている「被爆者募金箱」も今年用に交換させて貰いました。

午後3時前、役場前蘇鉄の木の下で、集会が始まります。進行は増田さんです。地元代表として金田眞さんが挨拶します。「核兵器の使用の危険が高まる中、ノーモアヒロシマ、ノーモアナガサキ、ノーモアヒバクシャの声を世界に広げ、核兵器廃絶の道を切り平行く為に、行動に立ち上がりましょう。」と訴えます。次いで大家一成町長が「今年戦後80年を迎え、戦争の悲惨さを伝える世代が少なくなる中、私達は唯一の被爆国として、被爆者の苦しみ、悲しみを全世界の人々に訴えていくのは私たちの使命です」と挨拶します。谷久司議長は「核兵器のない世界を実現させていかなければならない。その思いを持ってみなさん方をお見送りしていきたい。」と挨拶されました。県事務局からは、「5月7日橋本市を出発し、本日の古座川町の平和行進で755人が参加している。」ことを報告しました。次いで、わかやま市民生協山本力羽さんが決意表明をします。最後に集会アピールを岸本芳明さんが読み上げます。町長、議長、古座川町職員の方々、参加者に見送られ平和行進宣伝カーは古座川町内へ走り出しました。（集会参加20人）

県原水協事務局